

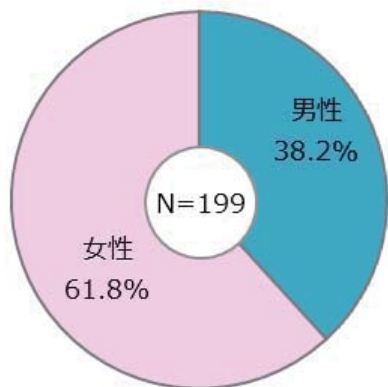
「村山市のひなまつり」(3/19) (山形県村山市楯岡五日町 14-20)

(1) 調査概要

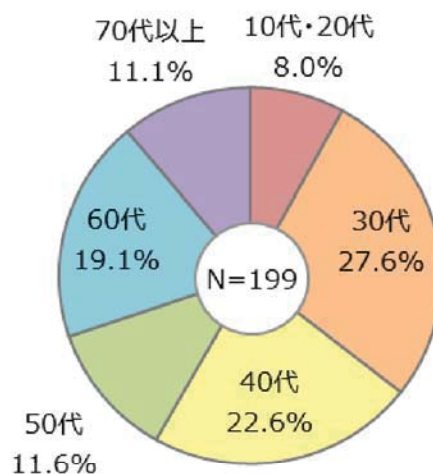
- 調査対象者 パイロット事業の来場者（プログラム参加者）
- 実施日時 2017年3月19日（日） 10:00～17:00
- 調査手法 専門調査員によるアンケート調査
 - ・ 対象者の自記入式回答法
 - ・ 北方領土ブースを出てきた人を対象に声掛けを行った
- 回収数 199 サンプル
- 調査項目
 - ・ これまでの北方領土問題認知・理解状況（来場・参加前）
 - ・ パイロット事業の展開プログラムのなかで参加（接触）したプログラム
 - ・ 参加プログラム（個別）に対する印象・感想
 - ・ パイロット事業（参加プログラム全体）の取り組みに対する評価
 - ・ 北方領土問題のなかで興味・関心を持った内容
 - ・ 北方領土問題に対する意識・考え方の変化
 - ・ 今後の参加プログラムに対する参加意向（同様のプログラムが実施された場合）
 - ・ 今後の北方領土の情報に対する関わり方
 - ・ プロフィール（性別・年代・居住地）

対象者属性

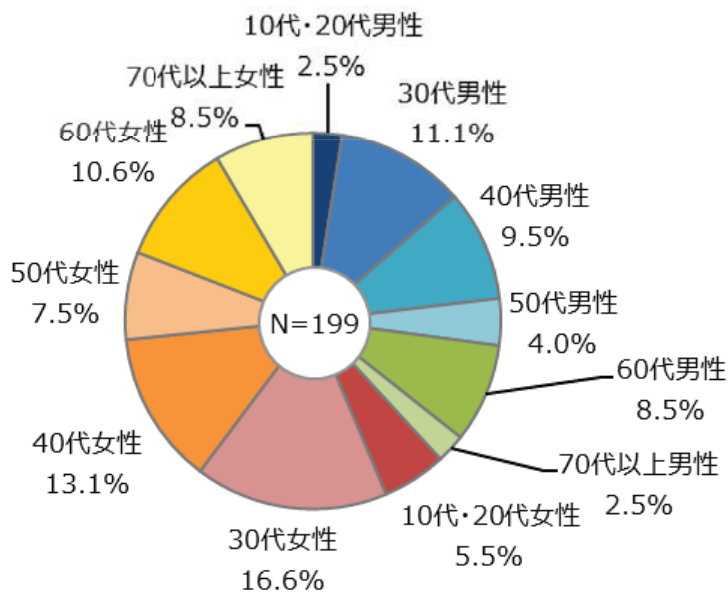
性別



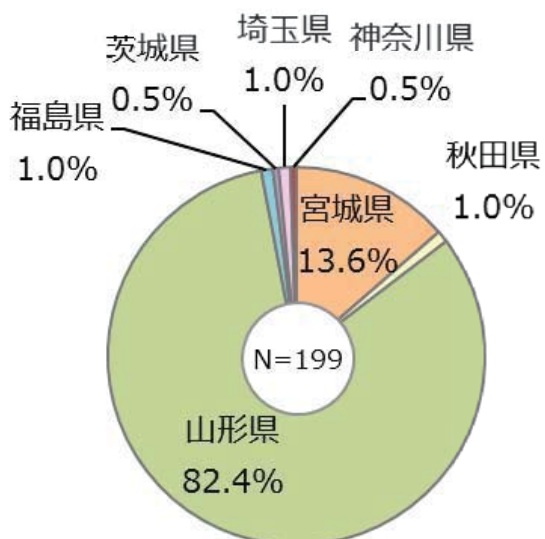
年代別



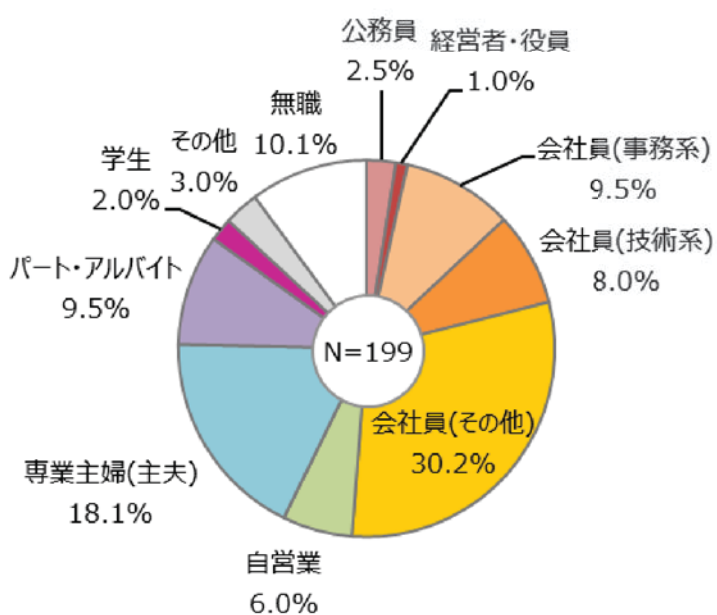
性×年代別



地域別



職業別



(2) 調査結果

1 北方領土問題が存在することの認知

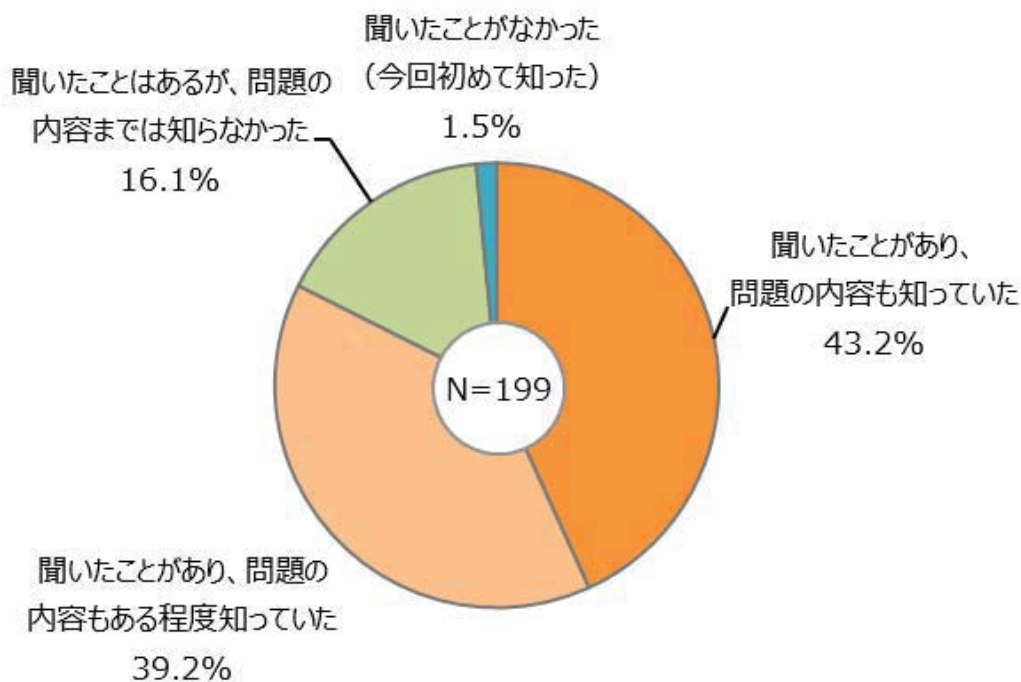
北方領土問題について、「聞いたことがあり、問題の内容も知っていた」と回答した人は43.2%、「聞いたことがあり、問題の内容もある程度知っていた」と回答した人は39.2%で、8割以上(82.4%)が認知していた。

- ・ 男女別で比較すると、女性よりも男性の方で、認知が進んでいた。

Q1. 本日、「北方領土情報ブース」に立ち寄る前のことをお聞きします。

あなたは、日本とロシアの間に「北方領土問題」があることをご存じでしたか。

(〇は一つだけ)



《詳細結果》

■ 「聞いたことがあり、問題の内容も知っていた」性別比較
 男性：60.5%/女性：32.5%

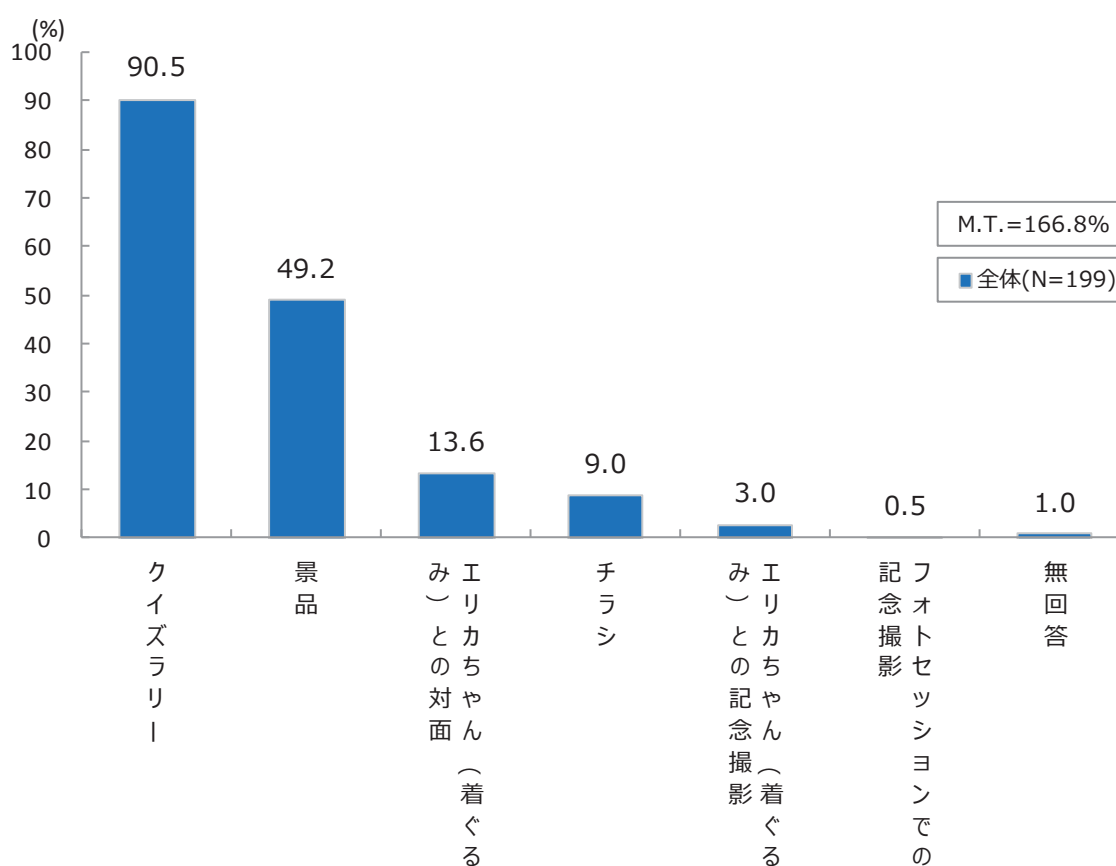
2 「北方領土情報ブース」で参加・接触したもの

「北方領土情報ブース」で参加・接触状況を見ると、「クイズラリー」との接触が90.5%と目立っており、次いで「景品」(49.2%)、「エリカちゃん(着ぐるみ)との対面」(13.6%)となっている。エリカちゃんとの記念撮影やフォトセッションでの記念撮影は数値が低かった。

- ・年代別で比較すると、30代女性は、「エリカちゃん(着ぐるみ)との対面」や「エリカちゃん(着ぐるみ)との記念撮影」への接触率が他層より高かった。

Q2. 本日、「北方領土情報ブース」であなたが、参加・接触したものをお答えください。

(○はいくつでも)



《詳細結果》

■ 「エリカちゃん(着ぐるみ)との対面」性・年代別比較

全体平均 : 13.6%/30代女性 : 33.3%

■ 「エリカちゃん(着ぐるみ)との記念撮影」年代比較性・年代別比較

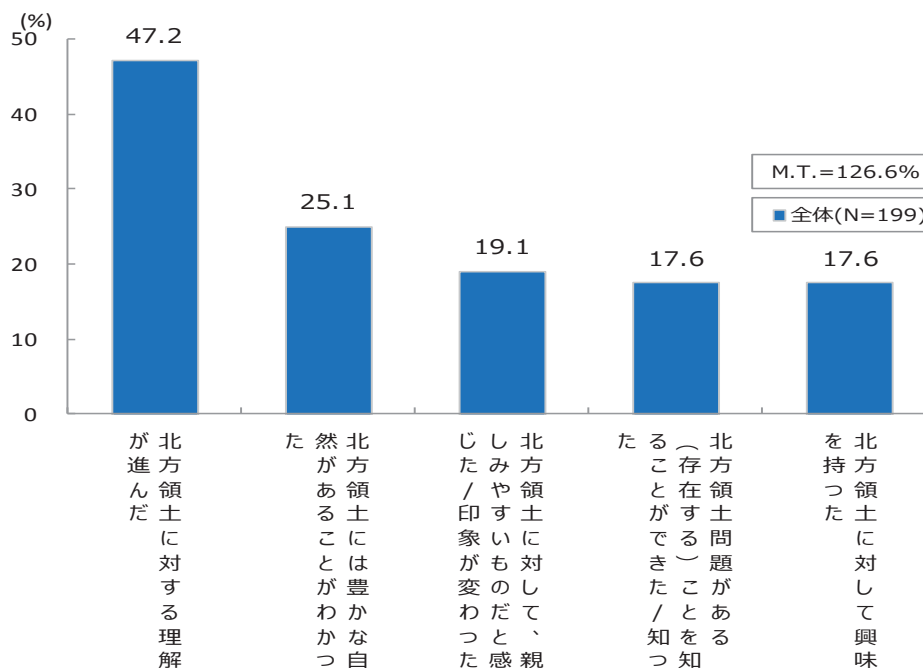
全体平均 : 3.0%/30代女性 : 15.2%

3 「北方領土情報ブース」に参加した印象

「北方領土情報ブース」に参加した印象では、「北方領土に対する理解が進んだ」(47.2%)との回答が目立っている。次いで「北方領土には豊かな自然があったことがわかった」(25.1%)、「北方領土に対して、親しみやすいものだと感じた/印象が変わった」(19.1%)となっている。

- ・ 「北方領土に対する理解が進んだ」の項目のみ男性の方が数値が高く、それ以外の項目は女性の方が数値が高かった。
- ・ 年代で見ると、10・20代では「北方領土問題がある（存在する）ことを知ることができた/知った」、40・50代では「北方領土に対する理解が進んだ」、60代以上では「北方領土には豊かな自然があったことがわかった」の項目がそれぞれ数値が高かった。

Q3. 「北方領土情報ブース」であなたが、参加・接触したものに対する印象、感想をお答えください。
(〇はいくつでも)



《詳細結果》

■ 「北方領土に対する理解が進んだ」性別比較

男性：55.3%/女性：42.3%

■ 「北方領土問題がある（存在する）ことを知ることができた/知った」年代別比較

10・20代：37.5%/30代：16.4%/40代：11.1%/50代：13.0%/60代：23.7%/70代以上：13.6%

■ 「北方領土に対する理解が進んだ」年代別比較

10・20代：31.3%/30代：32.7%/40代：57.8%/50代：65.2%/60代：50.0%/70代以上：50.0%

■ 「北方領土には豊かな自然があったことがわかった」年代別比較

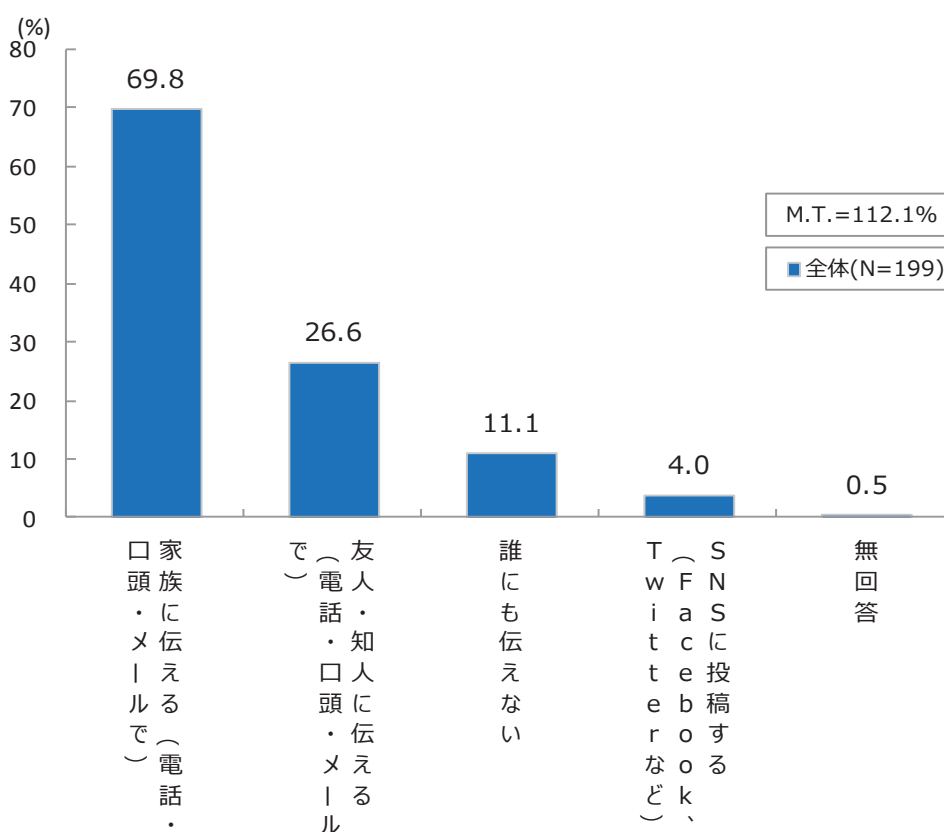
10・20代：31.3%/30代：18.2%/40代：13.3%/50代：30.4%/60代：36.8%/70代以上：36.4%

4 「北方領土情報ブース」の内容の拡散意向

「北方領土情報ブース」の内容の拡散意向では、「家族に伝える（電話・口頭・メールで）」と回答した人が69.8%と最も高く、次いで「友人・知人に伝える（電話・口頭・メールで）」(26.6%)、「誰にも伝えない」(11.1%)となっている。「SNSに投稿する（Facebook、Twitterなど）」は4.0%と低い結果となった。

- ・ 「友人・知人に伝える（電話・口頭・メールで）」の項目は、20代～30代に比べ、50代以降で高い傾向にあった。
- ・ 「SNSに投稿する（電話・口頭・メールで）」の項目は、10～30代、50代の女性で数値が高かった。

Q4. 「北方領土情報ブース」での取り組み内容や「北方領土情報ブース」で撮影した画像などを今後、ご家族・友人や知り合いの方々に伝えたいと思いますか？（○はいくつでも）



《詳細結果》

■ 「友人・知人に伝える（電話・口頭・メールで）」性別比較

男性：25.0%/女性：27.6%

■ 「友人・知人に伝える（電話・口頭・メールで）」年代別比較

10・20代：18.8%/30代：18.2%/40代：20.0%/50代：34.8%/60代：42.1%/70代以上：31.8%

■ 「SNSに投稿する（電話・口頭・メールで）」性・年代別比較

全体平均：4.0%/10・20代女性：9.1%/30代女性：9.1%/50代女性：13.3%

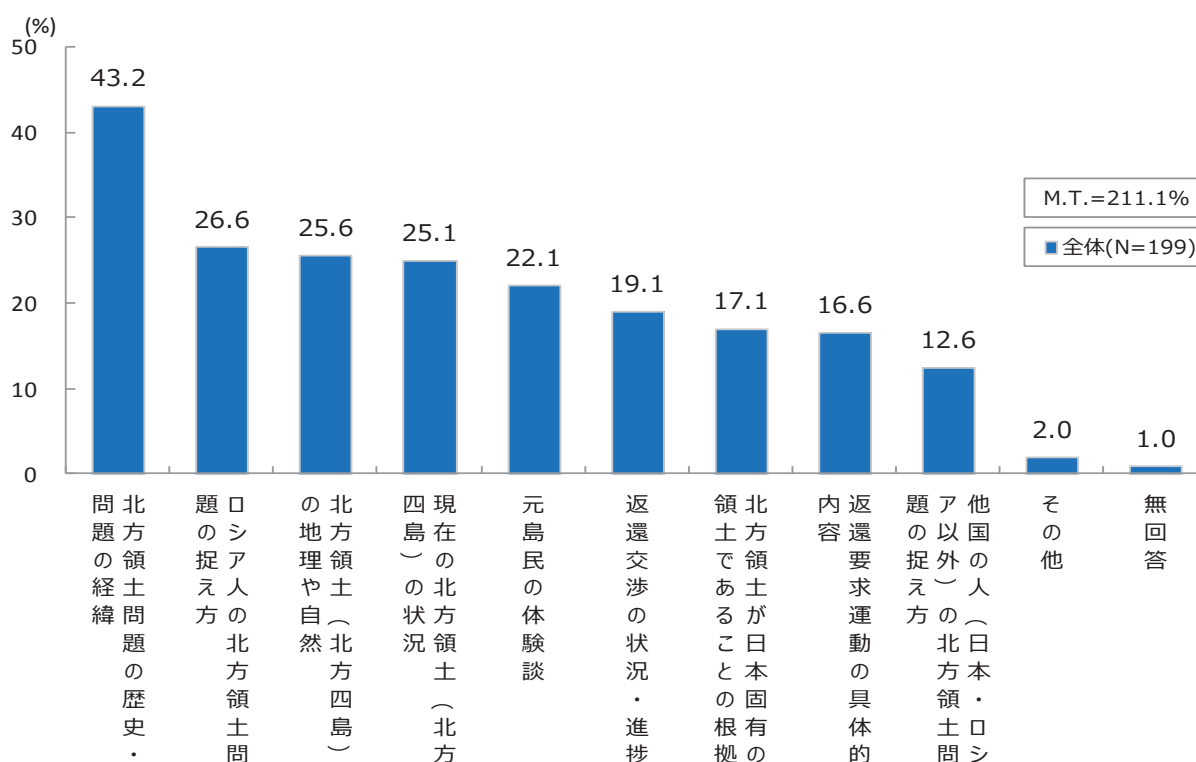
5 北方領土問題の関心内容

北方領土問題の関心内容についてみると、「北方領土問題の歴史・問題の経緯」(43.2%)に対する関心が特に高くなっている。次いで、「ロシア人の北方領土問題の捉え方」(26.6%)、「北方領土(北方四島)の地理や自然」(25.6%)への関心が高い。

- ・ 「北方領土の歴史・問題の経緯」については、60代の関心が他年代と比較し数値が高かった。
- ・ 性・年代別にみると、60代男性が全体的に数値が高く、北方領土問題に対する意識の高さが表れていた。

Q5. あなたは、北方領土問題について、更にどのような内容を知りたいと思いましたか。

(○はいくつでも)



《詳細結果》

■「北方領土の歴史・問題の経緯」年代別比較

10・20代: 37.5%/30代: 38.2%/40代: 46.7%/50代: 43.5%/60代: 52.6%/70代以上: 36.4%

■「ロシア人の北方領土問題の捉え方」性・年代別比較

全体平均: 26.6%/60代男性: 41.2%

■「北方領土(北方四島)の地理や自然」性・年代別比較

全体平均: 25.6%/60代男性: 41.2%

■「北方領土が日本固有の領土であることの根拠」性・年代別比較

全体平均: 17.1%/60代男性: 35.3%

■「返還要求運動の具体的な内容」性・年代別比較

全体平均: 16.6%/60代男性: 29.4%

6 パイロット事業（参加プログラム全体）の取り組みに対する評価

「早く返還してほしい」という意見が最も多く、特に70代以上の世代から多く挙げられていた。また、「勉強になった、知ることが出来てよかった」、「分かりやすかった」、「改めて考えるきっかけになった」などの感想が挙げられていた。

Q6. あなたが今回、「北方領土情報ブース」に接して、どのような印象・感想を持ちましたか。

（ご自由にお書きください）

(件)

	N	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
全体	66	1	5	13	15	8	14	10
早く返還してほしい	9	0	1	1	2	0	1	4
勉強になった、知ることが出来てよかった	6	0	1	1	2	0	2	0
分かりやすかった	5	0	0	2	1	2	0	0
改めて考える機会になった	5	0	0	0	4	1	0	0
北方領土問題に関わる人（政府等）へのエール	5	0	1	2	0	0	1	1
参加しやすかった	4	0	0	2	1	0	1	0
早く解決してほしい	4	0	0	0	0	0	1	3
北方領土について	4	0	0	0	1	1	1	1
理解を深めたい、もっと知りたい	3	0	0	1	1	0	1	0
興味をもった	2	0	1	1	0	0	0	0
展示内容についての改善案	2	0	0	0	1	0	1	0
良かった	2	0	0	0	0	1	1	0
北方領土（問題）が身近に感じられた	1	0	0	0	0	0	0	1
エリカちゃんの感想	1	0	0	1	0	0	0	0
北方領土問題についてもっとアピールすべきだと思った	1	1	0	0	0	0	0	0
良い運動（企画）だと思った	1	0	0	0	0	1	0	0
こんなところで北方領土問題のことをやっているとは思わなかった	1	0	0	0	0	0	1	0
スタッフの対応が良かった	1	0	0	0	1	0	0	0
難しい問題だと思った	1	0	0	0	0	0	1	0
2島返還ではなく、全島返還を望む	1	0	0	0	0	0	1	0
その他	7	0	1	2	1	2	1	0

※記述回答のあった66件の内容について分析

「矢田のおかげん」(3/26) (愛知県西尾市下矢田町郷2)

(1) 調査概要

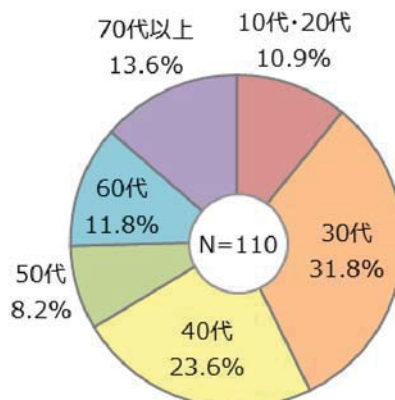
- 調査対象者 パイロット事業の来場者 (プログラム参加者)
- 実施日時 2017年3月26日(日) 10:00~16:00
- 調査手法 専門調査員によるアンケート調査
 - ・ 対象者の自記入式回答法
 - ・ 北方領土ブースを出てきた人を対象に声掛けを行った
- 回収数 110 サンプル
- 調査項目
 - ・ これまでの北方領土問題認知・理解状況 (来場・参加前)
 - ・ パイロット事業の展開プログラムのなかで参加 (接触) したプログラム
 - ・ 参加プログラム (個別) に対する印象・感想
 - ・ パイロット事業 (参加プログラム全体) の取り組みに対する評価
 - ・ 北方領土問題のなかで興味・関心を持った内容
 - ・ 北方領土問題に対する意識・考え方の変化
 - ・ 今後の参加プログラムに対する参加意向 (同様のプログラムが実施された場合)
 - ・ 今後の北方領土の情報に対する関わり方

対象者属性

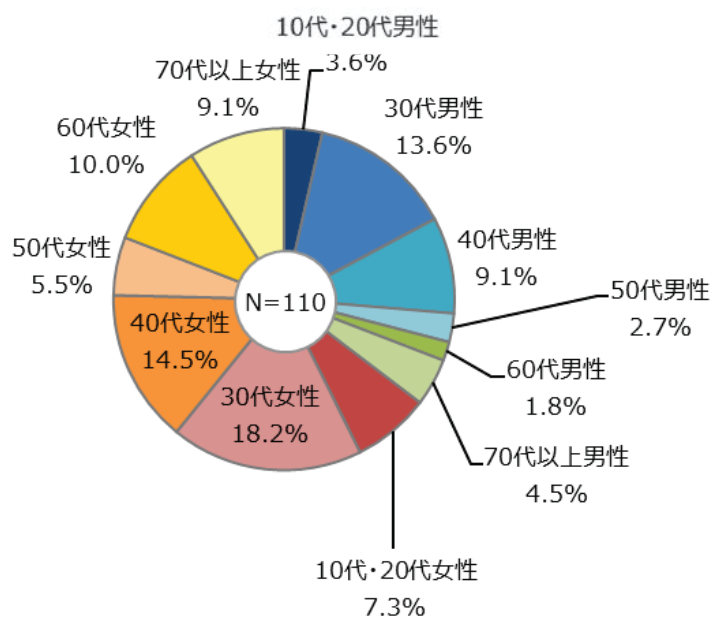
性別



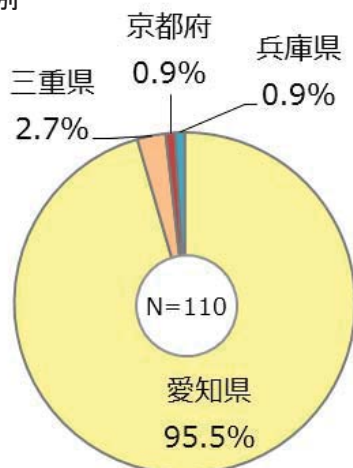
年代別



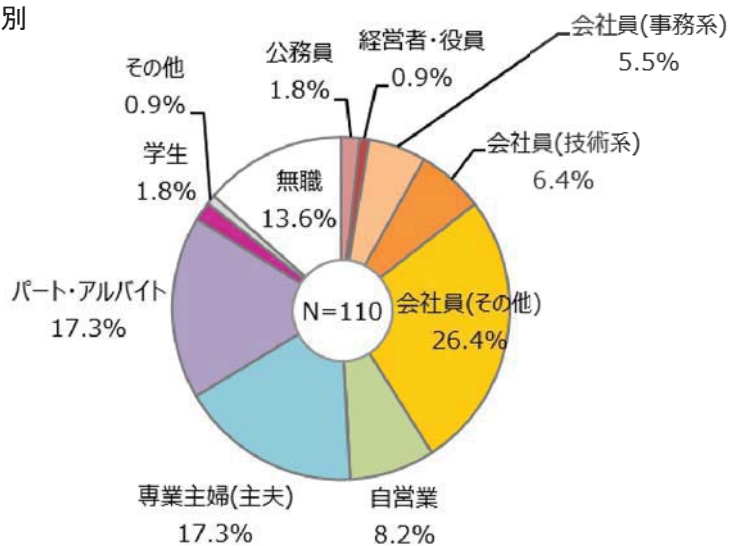
性×年代別



地域別



職業別



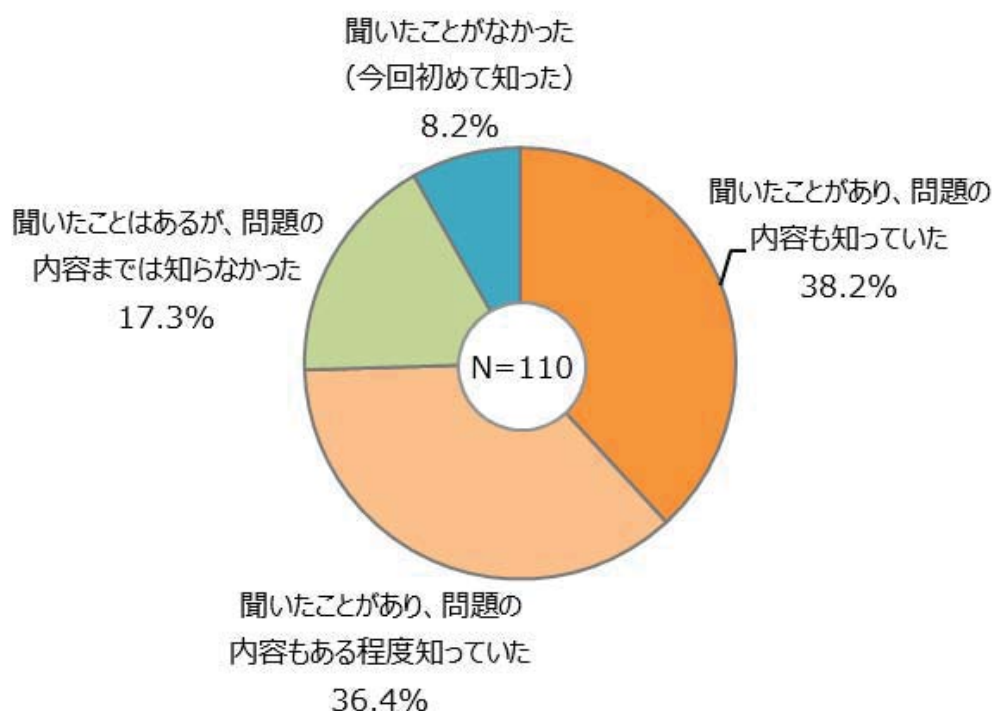
(2) 調査結果

1 北方領土問題が存在することの認知

- ・ 北方領土問題について、「聞いたことがあり、問題の内容も知っていた」と回答した人は 38.2%、「聞いたことがあり、問題の内容もある程度知っていた」と回答した人は 36.4%で、7割以上(74.6%)が認知していた。
- ・ 男女別で比較すると、女性よりも男性の方で、認知が進んでいた。

Q1. 本日、「北方領土情報ブース」に立ち寄る前のことをお聞きします。

あなたは、日本とロシアの間に「北方領土問題」があることをご存じでしたか。(○は一つだけ)



《詳細結果》

- 「聞いたことがあり、問題の内容も知っていた」性別比較
男性：59.0%/女性：26.8%

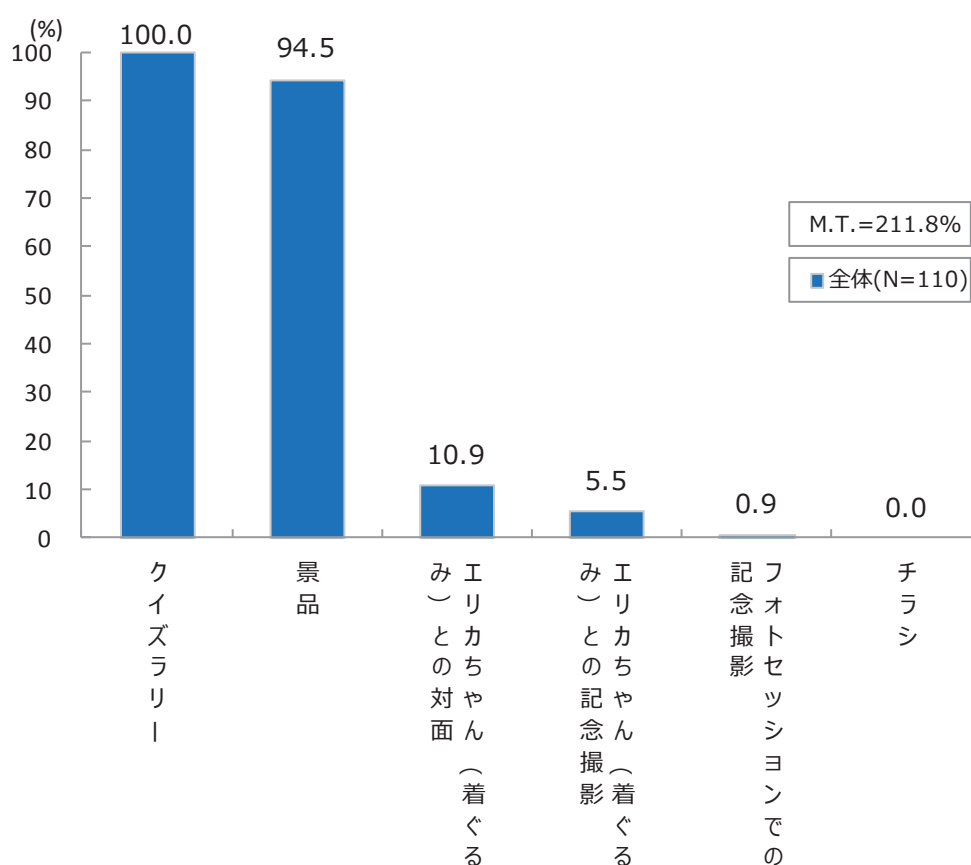
2 「北方領土情報ブース」で参加・接触したもの

「北方領土情報ブース」で参加・接触状況を見ると、「クイズラリー」との接触（100%）と「景品」（94.5%）が特に目立っていた。チラシは0%という結果だった。

- ・ 年代別で比較すると、10代・20代で、「エリカちゃん（着ぐるみ）との対面」や「エリカちゃん（着ぐるみ）との記念撮影」への接触率が他層より高かった。

Q2. 本日、「北方領土情報ブース」であなたが、参加・接触したものを教えてください。

（〇はいくつでも）



《詳細結果》

■ 「エリカちゃん（着ぐるみ）との対面」年代別比較

10・20代：16.7%/30代：14.3%/40代：3.8%/50代：11.1%/60代：15.4%/70代以上：6.7%

■ 「エリカちゃん（着ぐるみ）との記念撮影」年代別比較

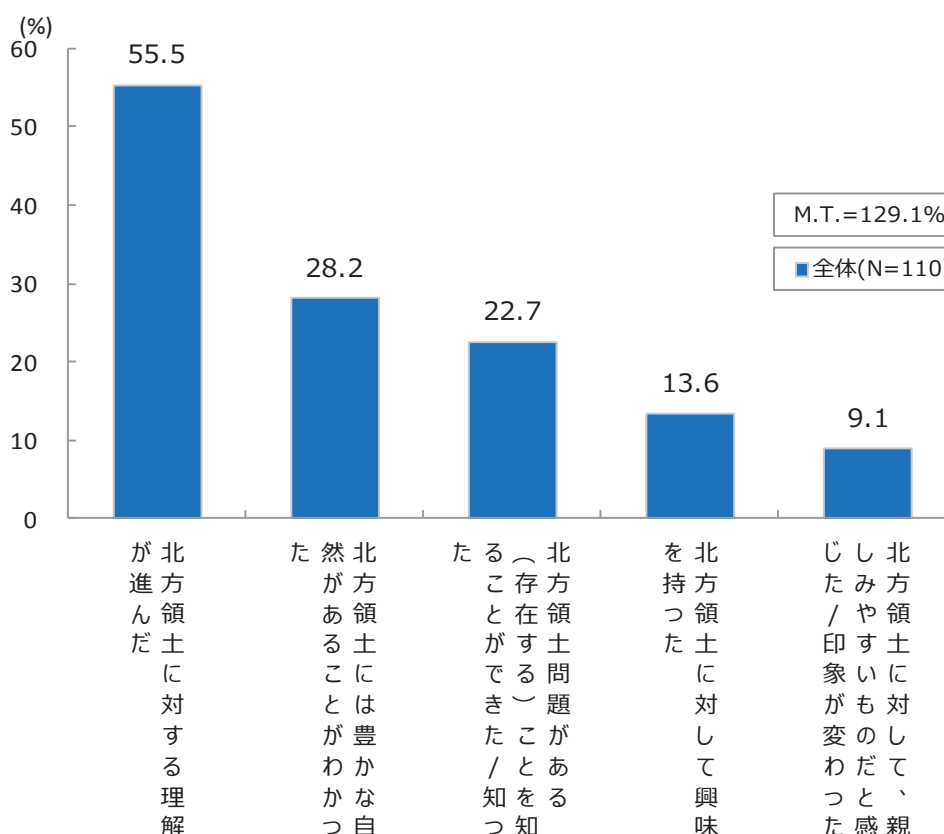
10・20代：16.7%/30代：5.7%/40代：0.0%/50代：11.1%/60代：7.7%/70代以上：0.0%

3 「北方領土情報ブース」に参加した印象

「北方領土情報ブース」に参加した印象では、「北方領土に対する理解が進んだ」(55.5%)との回答が目立っている。次いで「北方領土には豊かな自然があることがわかった」(28.2%)、「北方領土問題がある(存在する)ことを知ることができた/知った」(22.7%)となっている。

- ・ 「北方領土に対する理解が進んだ」の項目では男性の方が特に数値が高く、「北方領土問題がある(存在する)ことを知ることが出来た/知った」の項目は女性の方が特に数値が高かった。
- ・ 年代で見ると、「北方領土に対して、親しみやすいものだと感じた/印象が変わった」の項目で、40代の数値が他層に比べて特に高かった。

Q3. 「北方領土情報ブース」であなたが、参加・接触したものに対する印象、感想をお答えください。(〇はいくつでも)



《詳細結果》

■ 「北方領土に対する理解が進んだ」性別比較

男性：66.7%/女性：49.3%

■ 「北方領土問題がある(存在する)ことを知ることが出来た/知った」性別比較

男性：12.8%/女性：28.2%

■ 「北方領土に対して、親しみやすいものだと感じた/印象が変わった」年代比較

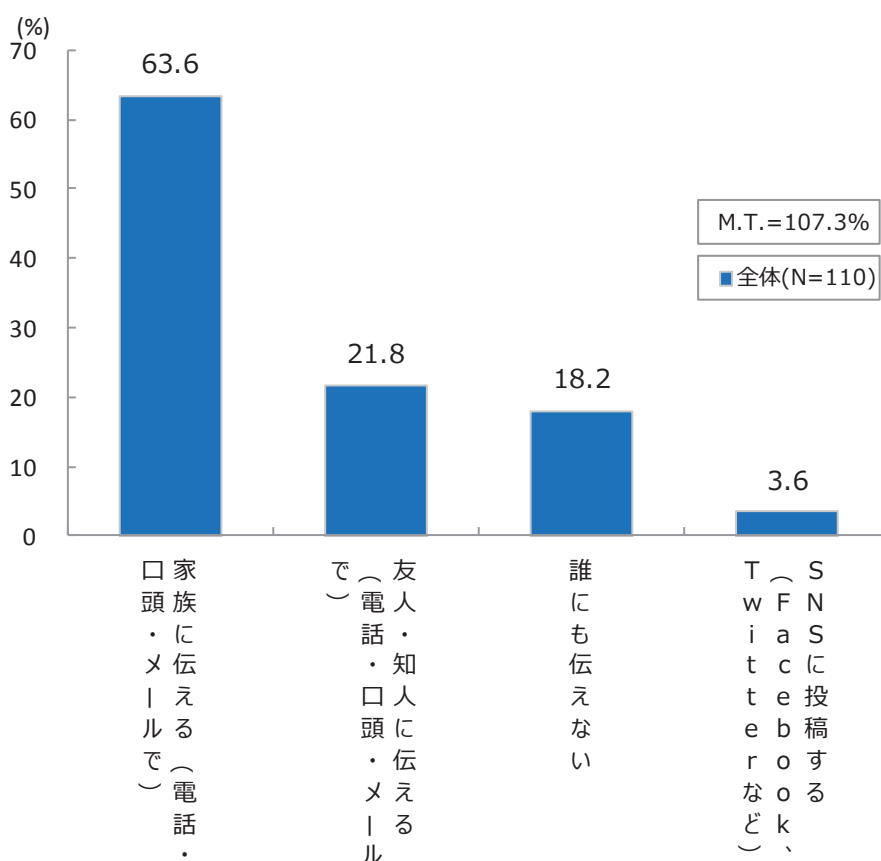
10・20代：0.0%/30代：5.7%/40代：23.1%/50代：0.0%/60代：7.7%/70代以上：6.7%

4 「北方領土情報ブース」の内容の拡散意向

「北方領土情報ブース」の内容の拡散意向では、「家族に伝える（電話・口頭・メールで）」と回答した人が63.6%と最も高く、次いで「友人・知人に伝える（電話・口頭・メールで）」(21.8%)、「誰にも伝えない」(18.2%)となっている。「SNSに投稿する（Facebook、Twitterなど）」は3.6%と低い結果となった。

- ・ 「家族に伝える（電話・口頭・メールで）」の項目は、30～50代で数値が高かった。
- ・ 「SNSに投稿する（電話・口頭・メールで）」の項目は、10・20代女性で数値が高かった。

Q4. 「北方領土情報ブース」での取り組み内容や「北方領土情報ブース」で撮影した画像などを今後、ご家族・友人や知り合いの方々に伝えたいと思いますか？（○はいくつでも）



《詳細結果》

■ 「家族に伝える（電話・口頭・メールで）」年代比較

10・20代：33.3%/30代：74.3%/40代：73.1%/50代：77.8%/60代：61.5%/70代以上：40.0%

■ 「SNSに投稿する（電話・口頭・メールで）」性・年代比較

全体平均：3.6%/10・20代女性：25.0%

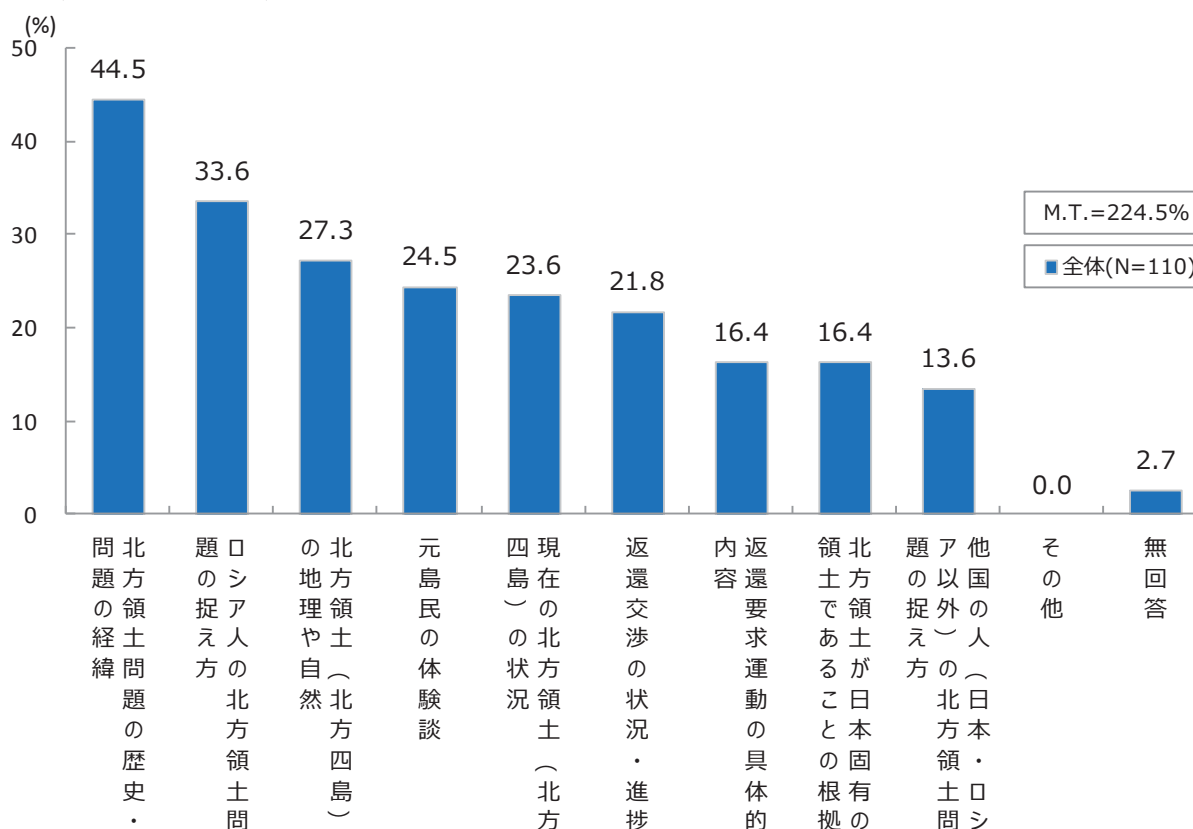
5 北方領土問題の関心内容

北方領土問題の関心内容についてみると、「北方領土問題の歴史・問題の経緯」(44.5%)に対する関心が特に高くなっている。次いで、「ロシア人の北方領土問題の捉え方」(33.6%)、「北方領土(北方四島)の地理や自然」(27.3%)への関心が高い。

- ・ 「北方領土の歴史・問題の経緯」については、30～40代で数値が高かった。
- ・ 性・年代別にみると、40代男性が全体的に数値が高く、北方領土問題に対する意識の高さが表れていた。

Q5. あなたは、北方領土問題について、更にどのような内容を知りたいと思いましたか。

(○はいくつでも)



《詳細結果》

■ 「北方領土の歴史・問題の経緯」年代比較

10・20代：25.0%/30代：54.3%/40代：57.7%/50代：22.2%/60代：46.2%/70代以上：26.7%

■ 「北方領土(北方四島)の地理や自然」性・年代別比較

全体平均：27.3%/40代男性：50.0%

■ 「現在の北方領土(北方四島)の状況」

全体平均：23.6%/40代男性：40.0%

■ 「北方領土が日本固有の領土であることの根拠」性・年代別比較

全体平均：16.4%/40代男性：40.0%

6 パイロット事業（参加プログラム全体）の取り組みに対する評価

「北方領土について新しい知識を得られた」、「分かりやすかった」、「良い運動（企画）だと思った」、「勉強になった、知ることが出来てよかった」などの感想が挙げられていた。

Q6. あなたが今回、「北方領土情報ブース」に接して、どのような印象・感想を持ちましたか。
（ご自由にお書きください）

	N	(件)						
		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
全体	38	2	2	10	8	4	5	7
北方領土について新しい知識を得られた	5	0	2	1	1	0	1	0
分かりやすかった	4	0	0	1	1	0	0	2
良い運動（企画）だと思った	4	0	0	3	0	0	0	1
勉強になった、知ることが出来てよかった	4	0	0	0	2	0	1	1
早く返還してほしい	3	0	0	2	0	1	0	0
展示内容についての改善案	3	0	0	1	0	1	0	1
もっと多くの人に知ってもらいたい	2	0	0	0	1	0	0	1
改めて考える機会になった	1	0	0	0	1	0	0	0
エリカちゃんの感想	1	0	0	0	0	1	0	0
北方領土問題についてもっとアピールすべきだと思った	1	0	0	0	0	1	0	0
参加しやすかった	1	0	0	0	1	0	0	0
こんなところで北方領土問題のことをやっているとは思わなかった	1	0	0	0	0	0	1	0
早く解決してほしい	1	0	0	0	0	0	1	0
難しい問題だと思った	1	0	0	0	0	0	1	0
新しい取り組みだと思った	1	0	0	1	0	0	0	0
元島民の体験談を詳しく聞きたい	1	0	0	0	0	0	0	1
若い人がスタッフにいて、えらいと思った	1	0	0	0	1	0	0	0
その他	3	2	0	1	0	0	0	0

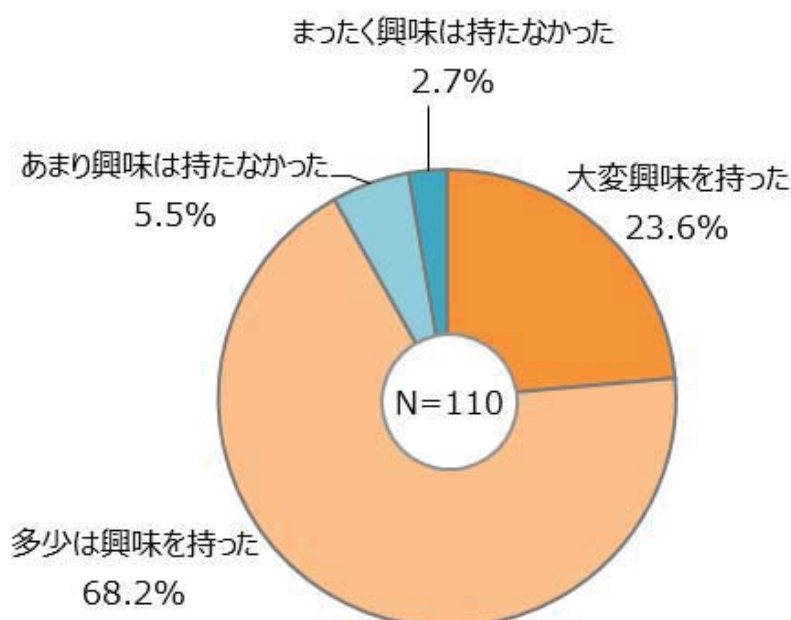
※記述回答のあった 38 件の内容について分析

7 パイロット事業（参加プログラム全体）の取り組みに対する評価

今回のような北方領土問題啓発活動を通じて、北方領土問題に「大変興味を持った」人は23.6%で、「多少は興味を持った」人は68.2%。興味を持った人は、全体の9割以上（91.8%）にのぼる。

- ・ 男女で比較すると、「大変興味を持った」の回答が男性35.9%、女性16.9%と差が見られた。
- ・ 年代で比較すると、70代以上で、「大変興味を持った」の回答が5割を超えていた。

Q7. あなたは、今回のような北方領土問題を啓発する活動を通じて、「北方領土問題」について、どの程度、興味を持ちましたか？（○は一つだけ）



《詳細結果》

■ 「大変興味を持った」性別比較

男性：35.9%/女性：16.9%

■ 「大変興味を持った」年代比較

10・20代：0.0%/30代：25.7%/40代：19.2%/50代：33.3%/60代：7.7%/70代以上：53.3%